



株式会社カガミハウジング

環境に配慮した防災倉庫の設置で 地域の安全と環境保全の 双方に貢献



伊勢崎市

住 所・・・伊勢崎市境女塚24-2

T E L・・・0270-74-1441

U R L・・・http://www.kagami-net.co.jp/

代表者・・・鏡 保夫

設 立・・・2003年1月

資本金・・・3,000千円

従業員・・・11名

WEBサイト



事業者紹介

当社は防災倉庫をはじめ、喫煙ハウスや消防訓練棟などの製造・販売を行っている企業です。

なかでも防災倉庫は軽量鉄骨ユニット構造で剛性、耐久性に優れ、錆・腐食に強く、気密性や断熱性にも優れた設計となっており、全国累計1,300棟以上の設置実績があります。建築基準法などの法令に準じた構造のため、建築確認申請や防火仕様に応じて製作することが可能であり、数多くの官公庁様や施設・学校・企業様に導入されています。

経緯・背景

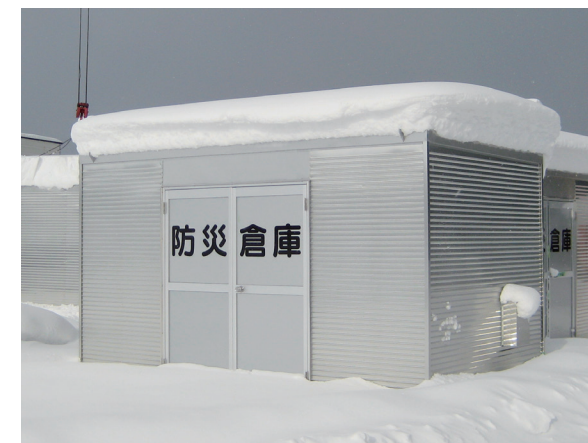
大きな災害が続くなか、これまで以上に防災は私たちの生活において重要なものとなってくると考えます。個人で準備する防災もちろん大切ですが、それには限度があり、社会全体で取り組むことが必要不可欠です。当社では、オーダーメイドで防災倉庫を製造する強みを活かし、ソーラーパネル発電を利用した非常用電源システムの搭載や設置場所に合わせたサイズ・仕様に対応することで防災倉庫の普及に努め、より多くの地域の防災活動に取り組んでいきます。

防災倉庫の普及を通じて 防災意識の向上に努めると ともに災害時の備えを万全に

具体的な取組・成果

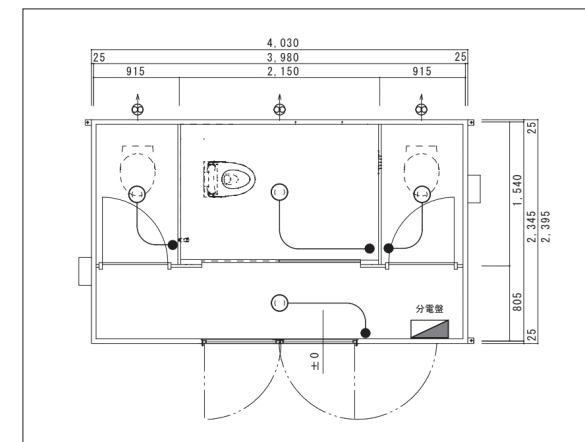
- 目標2.飢餓をゼロに
- 目標3.すべての人に健康と福祉を
- 目標11.住み続けられるまちづくりを
- 目標16.平和と公正をすべての人に

来るべき災害に備え、非常食や保存水、非常電源や医療機器・医薬品等を備えておくことは重要です。しかし、既存の建物にすべてを用意しておくには限界があり、屋外への防災倉庫の設置が助けになると考えております。防災倉庫を普及し、より多くの備蓄品を用意することで災害時の物資不足を解決し多くの人を助け、少しでも安全・安心で災害に強く、住み続けられるまちづくりに貢献していきます。また、当社では喫煙ハウスも製作しており、ハウス内に設置された高性能プラズマ集塵脱臭装置によって総揮発性有機化合物を除去するため、受動喫煙防止の推進にも微力ながら取り組んでおります。



●目標6.安全な水とトイレを世界中に

東日本大震災では7割近くの自治体が、仮設トイレの設置に4日以上を要していました。そこで当社では、震災後備蓄品を出して空になった防災倉庫を仮設のトイレとして利用できるようにする仕組みを考えました。バリアフリーにも対応することで、トイレの利用を理由に避難所へ行くことを断念せざるを得ない人を置き去りにしないインクルーシブな取組を続けていきます。



●目標12.つくる責任つかう責任

当社では昨年から古くなった防災倉庫の解体工事にも取り組み始めました。鉄・アルミ・木材・コンクリートと防災倉庫には多数の資源が使われており、なかでもアルミや鉄のリサイクルは一から作ることよりも環境面で高いパフォーマンスを発揮しており、SDGsに大きく貢献できると考えております。

当社にとってのSDGsビジョン

経営理念である「N+1今一步の前進」のもとに、次世代のための地域環境保全や防災、資源の節約・リサイクル・廃棄物の削減に努めています。

今後の展望と求めるパートナー像

「防災倉庫の普及を通じて防災意識の向上に努める」

防災倉庫を普及し防災について考える機会を作ることで、子どもや高齢者、障がい者など多様な人を置き去りにしない防災について考え取り組んでいきます。